

柏崎刈羽原子力発電所／東海第二発電所 技術的能力比較表

【対象項目：1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等】

柏崎刈羽原子力発電所6／7号機 設置変更許可申請書 再補正（平成29年12月18日）					東海第二					備考
第1.7.1表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順 対応手段，対処設備，手順書一覧（1/3）					第1.7-1表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順 対応手段，対処設備，手順書一覧（1/2）					<p>柏崎の代替循環冷却系による原子炉格納容器内の減圧及び除熱に係る記載は、比較表ページ3に記載。 東二は代替循環冷却系を新設し代替循環冷却を行う。なお、代替循環冷却系の冷却水として、既設の残留熱除去系海水系、新設する緊急用海水系、新規配備する代替残留熱除去系海水系のいずれかを使用する。 柏崎は既設の復水移送ポンプを利用し代替循環冷却を行い、新設の代替原子炉補機冷却系にて冷却を行う。</p> <p>東二は遠隔人力操作機構による操作にて、格納容器圧力逃がし装置を使用する際、プルームの影響による操作員の被ばく低減を図るため、第二弁操作室を設置する。 東二はフィルタ装置内に銀ゼオライトを収納したよう素除去部を設け、よう素除去を行う。 柏崎はフィルタ装置下流側によるよう素フィルタを設置している。 (以下、第1.7-1表において同様)</p>
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順書	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順書	
原子炉格納容器の過圧破損防止	-	格納容器圧力逃がし装置による原子炉格納容器内の減圧及び除熱	<p>フィルタ装置 よう素フィルタ ラプチャーディスク ドレン移送ポンプ ドレンタンク 遠隔手動弁操作設備 遠隔空気駆動弁操作作用ポンプ 可搬型窒素供給装置 スクラバ水 pH 制御設備 フィルタベント遮蔽壁 配管遮蔽 不活性ガス系配管・弁 耐圧強化ベント系配管・弁 格納容器圧力逃がし装置配管・弁 遠隔空気駆動弁操作設備配管・弁 ホース・接続口 原子炉格納容器（サブプレッション・チェンバ、真空破壊弁を含む） 可搬型代替注水ポンプ（A-2 級） ※5 常設代替交流電源設備 ※3 可搬型代替交流電源設備 ※3 代替所内電気設備 ※3 常設代替直流電源設備 ※3 可搬型直流電源設備 ※3</p>	<p>事故時運転操作手順書（シビアアクシデント） 「PCV 制御」 「R/B 制御」</p> <p>AM 設備別操作手順書 「炉心損傷後 PCV ベント（フィルタベント使用（S/C）」 「炉心損傷後 PCV ベント（フィルタベント使用（D/W）」</p> <p>多様なハザード対応手順 「フィルタ装置ドレン移送ポンプ水張り」 「フィルタベント水位調整（水張り）」 「フィルタベント水位調整（水抜き）」 「フィルタベント停止後の N₂ パージ」 「フィルタ装置スクラバ水 pH 調整」 「ドレン移送ライン N₂ パージ」 「ドレンタンク水抜き」</p>	重大事故等対処設備	原子炉格納容器内の減圧及び除熱	代替循環冷却系による原子炉格納容器内の減圧及び除熱	<p>代替循環冷却系ポンプ サブプレッション・チェンバ※2 残留熱除去系熱交換器 代替循環冷却系配管・弁 残留熱除去系配管・弁・ストレーナ・スプレッヘッダ 原子炉圧力容器 原子炉格納容器 残留熱除去系海水系ポンプ※1 残留熱除去系海水系ストレーナ 緊急用海水ポンプ※1 緊急用海水系ストレーナ 常設代替交流電源設備※3 燃料給油設備※3</p>	重大事故等対処設備	非常時運転手順書Ⅲ（シビアアクシデント） 「除熱-1」等 AM設備別操作手順書 重大事故等対策要領
			<p>防火水槽 ※5、※6 淡水貯水池 ※5、※6 第二代替交流電源設備 ※3</p>	自主対策設備	原子炉格納容器の過圧破損防止	外部電源系及び非常用ディーゼル発電機（全交流動力電源）	格納容器圧力逃がし装置による原子炉格納容器内の減圧及び除熱	<p>フィルタ装置 圧力開放板 移送ポンプ 遠隔人力操作機構 第二弁操作室空気ボンベユニット（空気ボンベ） 差圧計 可搬型窒素供給装置 フィルタ装置遮蔽 配管遮蔽 第二弁操作室遮蔽 第一弁（S/C側） 第一弁（D/W側） 第二弁 第二弁バイパス弁 不活性ガス系配管・弁 耐圧強化ベント系配管・弁 格納容器圧力逃がし装置配管・弁 第二弁操作室空気ボンベユニット（配管・弁） 窒素供給配管・弁 移送配管・弁 補給水配管・弁 原子炉格納容器（サブプレッション・チェンバを含む） 真空破壊弁 可搬型代替注水中型ポンプ※2 可搬型代替注水大型ポンプ※2 西側淡水貯水設備※2 代替淡水貯槽※2 常設代替交流電源設備※3 可搬型代替交流電源設備※3 常設代替直流電源設備※3 可搬型代替直流電源設備※3 燃料給油設備※3</p>	重大事故等対処設備	非常時運転手順書Ⅲ（シビアアクシデント） 「除熱-1」等 AM設備別操作手順書 重大事故等対策要領
<p>※1:手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。 ※2:手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。 ※3:手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。 ※4:手順は「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。 ※5:手順は「1.13 重大事故等の収束に必要なとなる水の供給手順等」にて整備する。 ※6:「1.13 重大事故等の収束に必要なとなる水の供給手順等」【解釈】1 b) 項を満足するための代替淡水源（措置）</p>					<p>※1:手順については「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。 ※2:手順については「1.13 重大事故等の収束に必要なとなる水の供給手順等」にて整備する。 ※3:手順については「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。</p>					

柏崎刈羽原子力発電所／東海第二発電所 技術的能力比較表

【対象項目：1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等】

柏崎刈羽原子力発電所6／7号機 設置変更許可申請書 再補正（平成29年12月18日）					東海第二					備考	
対応手段，対処設備，手順書一覧（2/3）					対応手段，対処設備，手順書一覧（2/2）					<p>東二のベント弁は電動駆動のため操作用ボンベ使用による空気駆動弁操作なし。柏崎は隔離弁に空気駆動弁を使用しており，制御電源や操作用ボンベが必要。</p> <p>柏崎の格納容器内 pH 制御に係る記載は，比較表ページ3に記載。東二のサプレッション・プール水 pH 制御装置は窒素ガスポンベを用いて薬液タンクを加圧し薬液を圧送，残留熱除去系（格納容器スプレイ冷却系）のスプレイヘッド（S/C 側）から注入する設備とする。柏崎は，復水移送ポンプ使用して薬品注入を行う。</p>	
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順書	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順書		
原子炉格納容器の過圧破損防止	全交流動力電源	現場操作	遠隔手動弁操作設備 遠隔空気駆動弁作用ボンベ 遠隔空気駆動弁操作設備配管・弁	事故時運転操作手順書（シビアアクシデント） 「PCV 制御」 「R/B 制御」 AM 設備別操作手順書 「炉心損傷後 PCV ベント（フィルタベント使用（S/C）」 「炉心損傷後 PCV ベント（フィルタベント使用（D/W）」	原子炉格納容器の過圧破損防止	—	—	遠隔人力操作機構 第二弁操作室空気ボンベユニット（空気ボンベ） 差圧計 第二弁操作室遮蔽 第二弁操作室空気ボンベユニット（配管・弁）	重大事故等対処設備		非常時運転手順書Ⅲ（シビアアクシデント） 「除熱-1」等 AM設備別操作手順書
	—	不活性ガス（窒素ガス）による系統内の置換	可搬型窒素供給装置 ホース・接続口	多様なハザード対応手順 「フィルタベント停止後の N ₂ パージ」				不活性ガス（窒素）による系統内の置換	可搬型窒素供給装置 不活性ガス系配管・弁 耐圧強化ベント系配管・弁 格納容器圧力逃がし装置配管・弁 フィルタ装置 常設代替交流電源設備*3 可搬型代替交流電源設備*3 燃料給油設備*3		重大事故等対処設備
			可搬型大容量窒素供給装置 ホース 可燃性ガス濃度制御系配管・弁	多様なハザード対応手順 「可搬型格納容器窒素供給設備による PCV 窒素供給」				原子炉格納容器負圧破損の防止	可搬型窒素供給装置 不活性ガス系配管・弁 耐圧強化ベント系配管・弁 格納容器圧力逃がし装置配管・弁 原子炉格納容器 常設代替交流電源設備*3 可搬型代替交流電源設備*3 燃料給油設備*3	重大事故等対処設備	非常時運転手順書Ⅲ（シビアアクシデント） 「放出」 AM設備別操作手順書 重大事故等対策要領
—	—	自主対策設備	—	—	サプレッション・プール水 pH 制御装置による薬液注入	—	—	薬液タンク 蓄圧タンク加圧用窒素ガスポンベ サプレッション・プール水 pH 制御装置配管・弁 残留熱除去系配管・弁・スプレイヘッド サプレッション・チェンバ 常設代替直流電源設備*3 可搬型代替直流電源設備*3 燃料給油設備*3	自主対策設備	非常時運転手順書Ⅲ（シビアアクシデント） 「放出」 AM設備別操作手順書 重大事故等対策要領	
※1:手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。 ※2:手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。 ※3:手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。 ※4:手順は「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。 ※5:手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。 ※6:「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」【解釈】1 b) 項を満足するための代替淡水源（措置）					※1：手順については「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。 ※2：手順については「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。 ※3：手順については「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。						

柏崎刈羽原子力発電所／東海第二発電所 技術的能力比較表

【対象項目：1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等】

柏崎刈羽原子力発電所6／7号機 設置変更許可申請書 再補正（平成29年12月18日）					東海第二	備考
対応手段，対処設備，手順書一覧（3/3）						
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順書		
原子炉格納容器の過圧破損防止	—	代替循環冷却系による原子炉格納容器内の減圧及び除熱	復水移送ポンプ 代替原子炉補機冷却系 ※2 可搬型代替注水ポンプ（A-2級） ※5 サプレッション・チェンバ 残留熱除去系配管・弁・ストレーナ・ポンプ 高圧炉心注水系配管・弁 復水補給水系配管・弁 給水系配管・弁・スパージャ 格納容器スプレイ・ヘッダ ホース 原子炉圧力容器 原子炉格納容器 常設代替交流電源設備 ※3 可搬型代替交流電源設備 ※3 代替所内電気設備 ※3 燃料補給設備 ※3	重大事故等対処設備	事故時運転操作手順書（シビアアクシデント） 「PCV制御」 AM設備別操作手順書 「代替循環冷却系によるPCV内の減圧及び除熱」	
			防火水槽 ※5，※6 淡水貯水池 ※5，※6 第二代替交流電源設備 ※3	自主対策設備		
		代替格納容器スプレイ冷却系（常設） ※1 格納容器下部注水系（常設） ※4 格納容器pH制御設備	自主対策設備	事故時運転操作手順書（シビアアクシデント） 「PCV制御」 AM設備別操作手順書 「炉心損傷後格納容器薬品注入」		
※1:手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。 ※2:手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。 ※3:手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。 ※4:手順は「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。 ※5:手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。 ※6:「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」【解釈】1 b) 項を満足するための代替淡水源（措置）						

柏崎刈羽原子力発電所／東海第二発電所 技術的能力比較表

【対象項目：1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等】

柏崎刈羽原子力発電所6／7号機 設置変更許可申請書 再補正（平成29年12月18日）	東海第二	備考																																																														
<p style="text-align: center;">第1.7.2表 重大事故等対処に係る監視計器</p> <p>監視計器一覧（1/7）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">手順書</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視パラメータ（計器）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.7.2.1 原子炉格納容器の過圧破損防止のための対応手順 (1) 交流電源が健全である場合の対応手順 a. 格納容器圧力逃がし装置による原子炉格納容器内の減圧及び除熱</td> </tr> <tr> <td rowspan="8"> 事故時運転操作手順書（シビアアクシデント） 「PCV制御」 「R/B制御」 AM設備別操作手順書 「炉心損傷後PCVバント（フィルタバント使用（S/C）」 「炉心損傷後PCVバント（フィルタバント使用（D/W）」 </td> <td style="text-align: center;">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>格納容器内雰囲気放射線レベル(A) (D/W) 格納容器内雰囲気放射線レベル(A) (S/C) 格納容器内雰囲気放射線レベル(B) (D/W) 格納容器内雰囲気放射線レベル(B) (S/C)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>原子炉圧力容器温度</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">原子炉格納容器内の圧力</td> <td>格納容器内圧力(D/W) 格納容器内圧力(S/C)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">原子炉格納容器内の水位</td> <td>サブプレッション・チェンバ・プール水位</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">原子炉格納容器内の温度</td> <td>ドライウエル雰囲気温度 サブプレッション・チェンバ気体温度 サブプレッション・チェンバ・プール水温度</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">原子炉格納容器内の水素濃度</td> <td>格納容器内水素濃度(A) 格納容器内水素濃度(B) 格納容器内水素濃度(SA)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">原子炉建屋内の水素濃度</td> <td>原子炉建屋水素濃度 ・原子炉建屋地上4階 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">電源</td> <td>M/C C 電圧 M/C D 電圧 P/C C-1 電圧 P/C D-1 電圧 直流 125V 主母線盤 A 電圧 直流 125V 主母線盤 B 電圧 AM用直流 125V 充電器蓄電池電圧</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）	1.7.2.1 原子炉格納容器の過圧破損防止のための対応手順 (1) 交流電源が健全である場合の対応手順 a. 格納容器圧力逃がし装置による原子炉格納容器内の減圧及び除熱			事故時運転操作手順書（シビアアクシデント） 「PCV制御」 「R/B制御」 AM設備別操作手順書 「炉心損傷後PCVバント（フィルタバント使用（S/C）」 「炉心損傷後PCVバント（フィルタバント使用（D/W）」	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内雰囲気放射線レベル(A) (D/W) 格納容器内雰囲気放射線レベル(A) (S/C) 格納容器内雰囲気放射線レベル(B) (D/W) 格納容器内雰囲気放射線レベル(B) (S/C)	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度	原子炉格納容器内の圧力	格納容器内圧力(D/W) 格納容器内圧力(S/C)	原子炉格納容器内の水位	サブプレッション・チェンバ・プール水位	原子炉格納容器内の温度	ドライウエル雰囲気温度 サブプレッション・チェンバ気体温度 サブプレッション・チェンバ・プール水温度	原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内水素濃度(A) 格納容器内水素濃度(B) 格納容器内水素濃度(SA)	原子炉建屋内の水素濃度	原子炉建屋水素濃度 ・原子炉建屋地上4階 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置	電源	M/C C 電圧 M/C D 電圧 P/C C-1 電圧 P/C D-1 電圧 直流 125V 主母線盤 A 電圧 直流 125V 主母線盤 B 電圧 AM用直流 125V 充電器蓄電池電圧	<p style="text-align: center;">第1.7-2表 重大事故等対処に係る監視計器</p> <p>監視計器一覧（1/6）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">手順書</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視パラメータ（計器）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.7.2.1 原子炉格納容器の過圧破損防止のための対応手順 (1) 代替循環冷却系による原子炉格納容器内の減圧及び除熱</td> </tr> <tr> <td rowspan="14"> 非常時運転手順書Ⅲ （シビアアクシデント） 「除熱-1」等 AM設備別操作手順書 </td> <td rowspan="8" style="text-align: center;">判断基準</td> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>格納容器雰囲気放射線モニタ (D/W) 格納容器雰囲気放射線モニタ (S/C)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>原子炉圧力容器温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>ドライウエル圧力 サブプレッション・チェンバ圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>ドライウエル雰囲気温度 サブプレッション・チェンバ雰囲気温度 サブプレッション・プール水温度</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>サブプレッション・プール水位</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>残留熱除去系系統流量</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>残留熱除去系ポンプ吐出圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center;">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力（SA）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>ドライウエル圧力 サブプレッション・チェンバ圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>ドライウエル雰囲気温度 サブプレッション・チェンバ雰囲気温度 サブプレッション・プール水温度</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>代替循環冷却系原子炉注水流量 代替循環冷却系格納容器スプレイ流量 代替循環冷却系ポンプ入口温度 残留熱除去系熱交換器入口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>サブプレッション・プール水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器への注水量</td> <td>低圧代替注水系格納容器スプレイ流量 （常設ライン用）</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>代替循環冷却系ポンプ吐出圧力 常設低圧代替注水系ポンプ吐出圧力</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）	1.7.2.1 原子炉格納容器の過圧破損防止のための対応手順 (1) 代替循環冷却系による原子炉格納容器内の減圧及び除熱			非常時運転手順書Ⅲ （シビアアクシデント） 「除熱-1」等 AM設備別操作手順書	判断基準	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器雰囲気放射線モニタ (D/W) 格納容器雰囲気放射線モニタ (S/C)	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度	原子炉格納容器内の圧力	ドライウエル圧力 サブプレッション・チェンバ圧力	原子炉格納容器内の温度	ドライウエル雰囲気温度 サブプレッション・チェンバ雰囲気温度 サブプレッション・プール水温度	水源の確保	サブプレッション・プール水位	最終ヒートシンクの確保	残留熱除去系系統流量	補機監視機能	残留熱除去系ポンプ吐出圧力	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域）	操作	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力（SA）	原子炉格納容器内の圧力	ドライウエル圧力 サブプレッション・チェンバ圧力	原子炉格納容器内の温度	ドライウエル雰囲気温度 サブプレッション・チェンバ雰囲気温度 サブプレッション・プール水温度	最終ヒートシンクの確保	代替循環冷却系原子炉注水流量 代替循環冷却系格納容器スプレイ流量 代替循環冷却系ポンプ入口温度 残留熱除去系熱交換器入口温度	原子炉格納容器内の水位	サブプレッション・プール水位	原子炉格納容器への注水量	低圧代替注水系格納容器スプレイ流量 （常設ライン用）	補機監視機能	代替循環冷却系ポンプ吐出圧力 常設低圧代替注水系ポンプ吐出圧力	<p>柏崎の代替循環冷却系による原子炉格納容器内の減圧及び除熱に係る監視計器は、比較表ページ7に記載。</p> <p>東二は代替循環冷却系を新設し代替循環冷却を行う。なお、代替循環冷却系の冷却水として、既設の残留熱除去系海水系、新設する緊急用海水系、新規配備する代替残留熱除去系海水系のいずれかを使用する。柏崎は既設の復水移送ポンプを利用し代替循環冷却を行い、新設の代替原子炉補機冷却系にて冷却を行う。</p>
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）																																																														
1.7.2.1 原子炉格納容器の過圧破損防止のための対応手順 (1) 交流電源が健全である場合の対応手順 a. 格納容器圧力逃がし装置による原子炉格納容器内の減圧及び除熱																																																																
事故時運転操作手順書（シビアアクシデント） 「PCV制御」 「R/B制御」 AM設備別操作手順書 「炉心損傷後PCVバント（フィルタバント使用（S/C）」 「炉心損傷後PCVバント（フィルタバント使用（D/W）」	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内雰囲気放射線レベル(A) (D/W) 格納容器内雰囲気放射線レベル(A) (S/C) 格納容器内雰囲気放射線レベル(B) (D/W) 格納容器内雰囲気放射線レベル(B) (S/C)																																																														
	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度																																																														
	原子炉格納容器内の圧力	格納容器内圧力(D/W) 格納容器内圧力(S/C)																																																														
	原子炉格納容器内の水位	サブプレッション・チェンバ・プール水位																																																														
	原子炉格納容器内の温度	ドライウエル雰囲気温度 サブプレッション・チェンバ気体温度 サブプレッション・チェンバ・プール水温度																																																														
	原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内水素濃度(A) 格納容器内水素濃度(B) 格納容器内水素濃度(SA)																																																														
	原子炉建屋内の水素濃度	原子炉建屋水素濃度 ・原子炉建屋地上4階 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置																																																														
	電源	M/C C 電圧 M/C D 電圧 P/C C-1 電圧 P/C D-1 電圧 直流 125V 主母線盤 A 電圧 直流 125V 主母線盤 B 電圧 AM用直流 125V 充電器蓄電池電圧																																																														
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）																																																														
1.7.2.1 原子炉格納容器の過圧破損防止のための対応手順 (1) 代替循環冷却系による原子炉格納容器内の減圧及び除熱																																																																
非常時運転手順書Ⅲ （シビアアクシデント） 「除熱-1」等 AM設備別操作手順書	判断基準	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器雰囲気放射線モニタ (D/W) 格納容器雰囲気放射線モニタ (S/C)																																																													
		原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度																																																													
		原子炉格納容器内の圧力	ドライウエル圧力 サブプレッション・チェンバ圧力																																																													
		原子炉格納容器内の温度	ドライウエル雰囲気温度 サブプレッション・チェンバ雰囲気温度 サブプレッション・プール水温度																																																													
		水源の確保	サブプレッション・プール水位																																																													
		最終ヒートシンクの確保	残留熱除去系系統流量																																																													
		補機監視機能	残留熱除去系ポンプ吐出圧力																																																													
		原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域）																																																													
	操作	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力（SA）																																																													
		原子炉格納容器内の圧力	ドライウエル圧力 サブプレッション・チェンバ圧力																																																													
		原子炉格納容器内の温度	ドライウエル雰囲気温度 サブプレッション・チェンバ雰囲気温度 サブプレッション・プール水温度																																																													
		最終ヒートシンクの確保	代替循環冷却系原子炉注水流量 代替循環冷却系格納容器スプレイ流量 代替循環冷却系ポンプ入口温度 残留熱除去系熱交換器入口温度																																																													
		原子炉格納容器内の水位	サブプレッション・プール水位																																																													
		原子炉格納容器への注水量	低圧代替注水系格納容器スプレイ流量 （常設ライン用）																																																													
補機監視機能	代替循環冷却系ポンプ吐出圧力 常設低圧代替注水系ポンプ吐出圧力																																																															

柏崎刈羽原子力発電所／東海第二発電所 技術的能力比較表

【対象項目：1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等】

柏崎刈羽原子力発電所6／7号機 設置変更許可申請書 再補正（平成29年12月18日）			東海第二			備考
監視計器一覧（2/7）			監視計器一覧（2/6）			<p>柏崎の格納容器圧力逃がし装置による原子炉格納容器内の減圧及び除熱に係る監視計器は、比較表ページ4及び本ページに記載。</p> <p>東二はフィルタ装置内に銀ゼオライトを収納したよう素除去部を設け、よう素除去を行う。</p> <p>柏崎はフィルタ装置下流側による素フィルタを設置している。</p>
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）	
1.7.2.1 原子炉格納容器の過圧破損防止のための対応手順 (1) 交流電源が健全である場合の対応手順 a. 格納容器圧力逃がし装置による原子炉格納容器内の減圧及び除熱			1.7.2.1 原子炉格納容器の過圧破損防止のための対応手順 (2) 格納容器圧力逃がし装置による原子炉格納容器内の減圧及び除熱 a. 格納容器圧力逃がし装置による原子炉格納容器内の減圧及び除熱			
事故時運転操作手順書（シビアアクシデント） 「PCV制御」 「R/B制御」 AM設備別操作手順書 「炉心損傷後PCVベント（フィルタベント使用（S/C）」 「炉心損傷後PCVベント（フィルタベント使用（D/W）」	操作	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内放射線レベル(A) (D/W) 格納容器内放射線レベル(A) (S/C) 格納容器内放射線レベル(B) (D/W) 格納容器内放射線レベル(B) (S/C)	判断基準	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内放射線モニタ (D/W) 格納容器内放射線モニタ (S/C)
		原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内水素濃度(A) 格納容器内水素濃度(B) 格納容器内水素濃度 (SA)		原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度
		原子炉建屋内の水素濃度	原子炉建屋水素濃度 ・原子炉建屋地上4階 ・原子炉建屋地上2階 ・原子炉建屋地下1階 ・原子炉建屋地下2階		原子炉格納容器内の水位	サブプレッション・プール水位
		原子炉格納容器内の水位	サブプレッション・チェンバ・プール水位	操作	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内放射線モニタ (D/W) 格納容器内放射線モニタ (S/C)
		原子炉格納容器内の圧力	格納容器内圧力(D/W) 格納容器内圧力(S/C)		原子炉格納容器内の圧力	ドライウエル圧力 サブプレッション・チェンバ圧力
		原子炉格納容器内の温度	ドライウエル雰囲気温度 サブプレッション・チェンバ気体温度 サブプレッション・チェンバ・プール水温度		原子炉格納容器内の温度	ドライウエル雰囲気温度 サブプレッション・チェンバ雰囲気温度 サブプレッション・プール水温度
		補機監視機能	フィルタ装置水位 フィルタ装置入口圧力 フィルタ装置出口放射線モニタ		原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内水素濃度 (SA) 格納容器内水素濃度
			非常時運転手順書Ⅲ（シビアアクシデント） 「除熱-1」等			
			AM設備別操作手順書	原子炉格納容器内の酸素濃度	格納容器内酸素濃度 (SA) 格納容器内酸素濃度	
				原子炉格納容器内の水位	サブプレッション・プール水位	
				最終ヒートシンクの確保	フィルタ装置水位 フィルタ装置圧力 フィルタ装置スクラビング水温度 フィルタ装置出口放射線モニタ（高レンジ・低レンジ） フィルタ装置入口水素濃度	
				補機監視機能	モニタリング・ポスト	

柏崎刈羽原子力発電所／東海第二発電所 技術的能力比較表

【対象項目：1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等】

柏崎刈羽原子力発電所6／7号機 設置変更許可申請書 再補正（平成29年12月18日）				東海第二				備考
監視計器一覧（3/7）				監視計器一覧（3/6）				東二は遠隔人力操作機構による操作にて、格納容器圧力逃がし装置を使用する際、プルームの影響による操作員の被ばく低減を図るため、第二弁操作室を設置する。
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）		手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）		
1.7.2.1 原子炉格納容器の過圧破損防止のための対応手順 (1) 交流電源が健全である場合の対応手順 a. 格納容器圧力逃がし装置による原子炉格納容器内の減圧及び除熱				1.7.2.1 原子炉格納容器の過圧破損防止のための対応手順 (2) 格納容器圧力逃がし装置による原子炉格納容器内の減圧及び除熱 b. 第二弁操作室の正圧化				
多様なハザード対応手順 「フィルタ装置ドレン移送ポンプ水張り」	判断基準	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内雰囲気放射線レベル(A) (D/W) 格納容器内雰囲気放射線レベル(A) (S/C) 格納容器内雰囲気放射線レベル(B) (D/W) 格納容器内雰囲気放射線レベル(B) (S/C)	判断基準	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器雰囲気放射線モニタ (D/W) 格納容器雰囲気放射線モニタ (S/C)		
		原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度			原子炉格納容器内の温度	原子炉圧力容器温度	
多様なハザード対応手順 「フィルタ装置ドレン移送ポンプ水張り」	操作	最終ヒートシンクの確保	残留熱除去系(A)系統流量 残留熱除去系(B)系統流量 残留熱除去系ポンプ(A)吐出圧力 残留熱除去系ポンプ(B)吐出圧力 原子炉補機冷却水系(A)系統流量 原子炉補機冷却水系(B)系統流量 残留熱除去系熱交換器(A)入口冷却水流量 残留熱除去系熱交換器(B)入口冷却水流量	操作	原子炉格納容器内の水位	サブプレッション・プール水位		
		補機監視機能	フィルタ装置水位		補機監視機能	第二弁操作室差圧 空気ボンベユニット空気供給流量		
多様なハザード対応手順 「フィルタ装置ドレン移送ポンプ水張り」	判断基準	補機監視機能	フィルタ装置水位	操作	補機監視機能	サブプレッション・プール水位		
		補機監視機能	フィルタ装置水位		補機監視機能	第二弁操作室差圧 空気ボンベユニット空気供給流量		
多様なハザード対応手順 「フィルタ装置ドレン移送ポンプ水張り」	操作	補機監視機能	フィルタ装置水位 フィルタ装置金属フィルタ差圧	操作	補機監視機能	サブプレッション・プール水位		
		補機監視機能	フィルタ装置水位 フィルタ装置ドレン移送流量		補機監視機能	第二弁操作室差圧 空気ボンベユニット空気供給流量		
多様なハザード対応手順 「フィルタ装置ドレン移送ポンプ水張り」	判断基準	補機監視機能	フィルタ装置水素濃度 ・フィルタ装置入口水素濃度 ・フィルタ装置出口水素濃度 ・フィルタ装置入口圧力	操作	補機監視機能	サブプレッション・プール水位		
		補機監視機能	フィルタ装置スクラバ水 pH フィルタ装置水位		補機監視機能	第二弁操作室差圧 空気ボンベユニット空気供給流量		
多様なハザード対応手順 「ドレン移送ライン N ₂ バージ」	判断基準	補機監視機能	ドレン移送ライン N ₂ バージ	操作	補機監視機能	サブプレッション・プール水位		
		補機監視機能	ドレン移送ライン圧力		補機監視機能	第二弁操作室差圧 空気ボンベユニット空気供給流量		
多様なハザード対応手順 「ドレン移送ライン N ₂ バージ」	操作	補機監視機能	ドレン移送ライン N ₂ バージ	操作	補機監視機能	サブプレッション・プール水位		
		補機監視機能	ドレン移送ライン圧力		補機監視機能	第二弁操作室差圧 空気ボンベユニット空気供給流量		
多様なハザード対応手順 「ドレン移送ライン N ₂ バージ」	判断基準	補機監視機能	ドレンタンク水位	操作	補機監視機能	サブプレッション・プール水位		
		補機監視機能	ドレンタンク水位 フィルタ装置ドレン移送流量		補機監視機能	第二弁操作室差圧 空気ボンベユニット空気供給流量		

柏崎刈羽原子力発電所／東海第二発電所 技術的能力比較表

【対象項目：1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等】

柏崎刈羽原子力発電所6／7号機 設置変更許可申請書 再補正（平成29年12月18日）			東海第二			備考			
監視計器一覧（4/7）			監視計器一覧（4/6）			柏崎のフィルタ装置水位調整（水張り）に係る監視計器は、比較表ページ6に記載。			
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）				
1.7.2.1 原子炉格納容器の過圧破損防止のための対応手順 (1) 交流電源が健全である場合の対応手順 b. 代替循環冷却系による原子炉格納容器内の減圧及び除熱			1.7.2.1 原子炉格納容器の過圧破損防止のための対応手順 (2) 格納容器圧力逃がし装置による原子炉格納容器内の減圧及び除熱 c. フィルタ装置スクラビング水補給			柏崎の可搬型格納容器窒素供給設備による原子炉格納容器への窒素ガス供給に係る監視計器は、比較表ページ8に記載。			
事故時運転操作手順書（シビアアクシデント） 「PCV制御」 AM設備別操作手順書 「代替循環冷却系によるPCV内の減圧及び除熱」	判断基準	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内雰囲気放射線レベル(A) (D/W) 格納容器内雰囲気放射線レベル(A) (S/C) 格納容器内雰囲気放射線レベル(B) (D/W) 格納容器内雰囲気放射線レベル(B) (S/C)	判断基準	最終ヒートシンクの確保		フィルタ装置水位		
		原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度		操作	最終ヒートシンクの確保	フィルタ装置水位		
		原子炉格納容器内の圧力	格納容器内圧力(D/W) 格納容器内圧力(S/C)	AM設備別操作手順書		判断基準	最終ヒートシンクの確保	残留熱除去系系統流量 代替循環冷却系格納容器スプレイ流量 残留熱除去系海水系系統流量 緊急用海水系流量（残留熱除去系熱交換器）	
		原子炉格納容器内の温度	ドライウエル雰囲気温度 サブプレッション・チェンバ気体温度 サブプレッション・チェンバ・プール水温度		原子炉格納容器内の圧力				ドライウエル圧力 サブプレッション・チェンバ圧力
		原子炉格納容器内の酸素濃度	格納容器内酸素濃度		原子炉格納容器内の温度				ドライウエル雰囲気温度 サブプレッション・チェンバ雰囲気温度
		最終ヒートシンクの確保	原子炉補機冷却水系(B)系統流量 残留熱除去系熱交換器(B)入口冷却水流量 原子炉補機冷却水系熱交換器(B)出口冷却水温度		原子炉格納容器内の水素濃度				格納容器内水素濃度(SA) 格納容器内水素濃度
		水源の確保	サブプレッション・チェンバ・プール水位		原子炉格納容器内の圧力				ドライウエル圧力 サブプレッション・チェンバ圧力
	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA）	原子炉格納容器内の温度		ドライウエル雰囲気温度 サブプレッション・チェンバ雰囲気温度				
	操作	原子炉格納容器内の水位	格納容器下部水位	操作	最終ヒートシンクの確保	格納容器内水素濃度(SA) 格納容器内水素濃度 格納容器内酸素濃度(SA) 格納容器内酸素濃度			
		原子炉格納容器内の圧力	格納容器内圧力(D/W) 格納容器内圧力(S/C)				原子炉格納容器内の圧力	ドライウエル圧力 サブプレッション・チェンバ圧力	
		原子炉格納容器内の温度	ドライウエル雰囲気温度 サブプレッション・チェンバ気体温度				原子炉格納容器内の温度	ドライウエル雰囲気温度 サブプレッション・チェンバ雰囲気温度	
		原子炉格納容器への注水量	復水補給水系流量（格納容器下部注水流量）				原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内水素濃度(SA) 格納容器内水素濃度	
		最終ヒートシンクの確保	サブプレッション・チェンバ・プール水温度 復水補給水系温度（代替循環冷却） 復水補給水系流量（RHR A系代替注水流量） 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） 原子炉補機冷却水系(B)系統流量 残留熱除去系熱交換器(B)入口冷却水流量 原子炉補機冷却水系熱交換器(B)出口冷却水温度				原子炉格納容器内の酸素濃度	格納容器内酸素濃度(SA) 格納容器内酸素濃度	
補機監視機能	復水移送ポンプ吐出ヘッド圧力 復水移送ポンプ(B)吐出圧力 復水移送ポンプ(C)吐出圧力								

柏崎刈羽原子力発電所／東海第二発電所 技術的能力比較表

【対象項目：1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等】

柏崎刈羽原子力発電所6／7号機 設置変更許可申請書 再補正（平成29年12月18日）			東海第二			備考
監視計器一覧（5/7）			監視計器一覧（5/6）			柏崎の格納容器圧力逃がし装置停止後の窒素ガスパージに係る監視計器は、比較表ページ6に記載。
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）	
1.7.2.1 原子炉格納容器の過圧破損防止のための対応手順 (1) 交流電源が健全である場合の対応手順 c. 格納容器内 pH 制御			1.7.2.1 原子炉格納容器の過圧破損防止のための対応手順 (2) 格納容器圧力逃がし装置による原子炉格納容器内の減圧及び除熱 e. フィルタ装置内の不活性ガス（窒素）置換			
事故時運転操作手順書（シビアアクシデント） 「PCV 制御」 AM 設備別操作手順書 「炉心損傷後格納容器薬品注入」	判断基準	原子炉格納容器内の放射線量率 格納容器内雰囲気放射線レベル(A) (D/W) 格納容器内雰囲気放射線レベル(A) (S/C) 格納容器内雰囲気放射線レベル(B) (D/W) 格納容器内雰囲気放射線レベル(B) (S/C)	判断基準	原子炉格納容器内の圧力	ドライウェル圧力 サブプレッション・チェンバ圧力	
		原子炉圧力容器内の温度		原子炉圧力容器温度	原子炉格納容器内の水素濃度	
操作	原子炉格納容器への注水量	復水補給水系流量 (RHR B 系代替注水流量) 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量)	操作	原子炉格納容器内の酸素濃度	格納容器内酸素濃度 (S A) 格納容器内酸素濃度	
	原子炉格納容器内の水位	サブプレッション・チェンバ・プール水位 格納容器下部水位		最終ヒートシンクの確保	フィルタ装置スクラビング水温度 フィルタ装置入口水素濃度	
	補機監視機能	薬液タンク水位 サブプレッションプール水 pH		1.7.2.1 原子炉格納容器の過圧破損防止のための対応手順 (2) 格納容器圧力逃がし装置による原子炉格納容器内の減圧及び除熱 f. フィルタ装置スクラビング水移送		
1.7.2.1 原子炉格納容器の過圧破損防止のための対応手順 (1) 交流電源が健全である場合の対応手順 d. 可搬型格納容器窒素供給設備による原子炉格納容器への窒素ガス供給			AM設備別操作手順書			
多様なハザード対応手順 「可搬型格納容器窒素供給設備による PCV 窒素供給」	判断基準	原子炉格納容器内の放射線量率 格納容器内雰囲気放射線レベル(A) (D/W) 格納容器内雰囲気放射線レベル(A) (S/C) 格納容器内雰囲気放射線レベル(B) (D/W) 格納容器内雰囲気放射線レベル(B) (S/C)	判断基準	最終ヒートシンクの確保	フィルタ装置スクラビング水温度 フィルタ装置水位	
		原子炉圧力容器内の温度		原子炉圧力容器温度	操作	最終ヒートシンクの確保
	操作	原子炉格納容器内の温度	サブプレッション・チェンバ・プール水温度			

柏崎刈羽原子力発電所／東海第二発電所 技術的能力比較表

【対象項目：1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等】

柏崎刈羽原子力発電所6／7号機 設置変更許可申請書 再補正（平成29年12月18日）			東海第二			備考
監視計器一覧（6/7）			監視計器一覧（6/6）			柏崎の格納容器内 pH 制御に係る監視計器は、比較表ページ8に記載。
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）	
1.7.2.1 原子炉格納容器の過圧破損防止のための対応手順 (2) 全交流動力電源喪失時の対応手順 a. 格納容器圧力逃がし装置による原子炉格納容器内の減圧及び除熱（現場操作）			1.7.2.1 原子炉格納容器の過圧破損防止のための対応手順 (3) サプレッション・プール水 pH制御装置による薬液注入			
事故時運転操作手順書（シビアアクシデント） 「PCV 制御」 「R/B 制御」 AM 設備別操作手順書 「炉心損傷後 PCV ベント（フィルタベント使用（S/C）」 「炉心損傷後 PCV ベント（フィルタベント使用（D/W）」	判断基準	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内雰囲気放射線レベル(A) (D/W) 格納容器内雰囲気放射線レベル(A) (S/C) 格納容器内雰囲気放射線レベル(B) (D/W) 格納容器内雰囲気放射線レベル(B) (S/C)	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器雰囲気放射線モニタ (D/W) 格納容器雰囲気放射線モニタ (S/C)	
		原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度		原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度
		原子炉格納容器内の圧力	格納容器内圧力(D/W) 格納容器内圧力(S/C)		水源の確保	薬液タンク液位
		原子炉格納容器内の水位	サプレッション・チェンバ・プール水位	操作	補機監視機能	薬液タンク圧力
		原子炉格納容器内の温度	ドライウエル雰囲気温度 サプレッション・チェンバ気体温度 サプレッション・チェンバ・プール水温度		水源の確保	薬液タンク液位
		原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内水素濃度(A) 格納容器内水素濃度(B) 格納容器内水素濃度(SA)			
		原子炉建屋内の水素濃度	原子炉建屋水素濃度 ・原子炉建屋地上4階 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置			
		電源	M/C C 電圧 M/C D 電圧 P/C C-1 電圧 P/C D-1 電圧 直流 125V 主母線盤 A 電圧 直流 125V 主母線盤 B 電圧 AM 用直流 125V 充電器盤蓄電池電圧			
	操作	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内雰囲気放射線レベル(A) (D/W) 格納容器内雰囲気放射線レベル(A) (S/C) 格納容器内雰囲気放射線レベル(B) (D/W) 格納容器内雰囲気放射線レベル(B) (S/C)			
		原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内水素濃度 (A) 格納容器内水素濃度 (B) 格納容器内水素濃度 (SA)			
		原子炉建屋内の水素濃度	原子炉建屋水素濃度 ・原子炉建屋地上4階 ・原子炉建屋地上2階 ・原子炉建屋地下1階 ・原子炉建屋地下2階			
		原子炉格納容器内の水位	サプレッション・チェンバ・プール水位			
		原子炉格納容器内の圧力	格納容器内圧力(D/W) 格納容器内圧力(S/C)			
		原子炉格納容器内の温度	ドライウエル雰囲気温度 サプレッション・チェンバ気体温度 サプレッション・チェンバ・プール水温度			
補機監視機能	フィルタ装置水位 フィルタ装置入口圧力 フィルタ装置出口放射線モニタ					

柏崎刈羽原子力発電所／東海第二発電所 技術的能力比較表

【対象項目：1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等】

柏崎刈羽原子力発電所6／7号機 設置変更許可申請書 再補正（平成29年12月18日）			東海第二	備考
監視計器一覧（7/7）				
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）		
1.7.2.1 原子炉格納容器の過圧破損防止のための対応手順 (2) 全交流動力電源喪失時の対応手順 a. 格納容器圧力逃がし装置による原子炉格納容器内の減圧及び除熱（現場操作）				
多様なハザード対応手順 「フィルタ装置ドレン移送ポンプ水張り」	判断基準	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内雰囲気放射線レベル(A) (D/W) 格納容器内雰囲気放射線レベル(A) (S/C) 格納容器内雰囲気放射線レベル(B) (D/W) 格納容器内雰囲気放射線レベル(B) (S/C)	
		原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度	
	最終ヒートシンクの確保	残留熱除去系(A)系統流量 残留熱除去系(B)系統流量 残留熱除去系ポンプ(A)吐出圧力 残留熱除去系ポンプ(B)吐出圧力 原子炉補機冷却水系(A)系統流量 原子炉補機冷却水系(B)系統流量 残留熱除去系熱交換器(A)入口冷却水流量 残留熱除去系熱交換器(B)入口冷却水流量		
操作	—	—		
多様なハザード対応手順 「フィルタベント水位調整（水張り）」	判断基準	補機監視機能	フィルタ装置水位	
	操作	補機監視機能	フィルタ装置水位	
多様なハザード対応手順 「フィルタベント水位調整（水抜き）」	判断基準	補機監視機能	フィルタ装置水位 フィルタ装置金属フィルタ差圧	
	操作	補機監視機能	フィルタ装置水位 フィルタ装置ドレン移送流量	
多様なハザード対応手順 「フィルタベント停止後のN ₂ バージ」	判断基準	—	—	
	操作	補機監視機能	フィルタ装置水素濃度 ・フィルタ装置入口水素濃度 ・フィルタ装置出口水素濃度 フィルタ装置入口圧力	
多様なハザード対応手順 「フィルタ装置スクラバ水 pH 調整」	判断基準	—	—	
	操作	補機監視機能	フィルタ装置スクラバ水 pH フィルタ装置水位	
多様なハザード対応手順 「ドレン移送ラインN ₂ バージ」	判断基準	—	—	
	操作	補機監視機能	ドレン移送ライン圧力	
多様なハザード対応手順 「ドレンタンク水抜き」	判断基準	補機監視機能	ドレンタンク水位	
	操作	補機監視機能	ドレンタンク水位 フィルタ装置ドレン移送流量	